

豊かな水源に 生きる

平成27年度
登呂博物館
企画展
Exhibition



田下駄（登呂遺跡）



四本歯鋤（登呂遺跡）

— 水田農耕のルーツは湿地に生きることにある —

豊かな水源がもたらす恩恵と苦難
湿地に暮らすために
人々が見出した工夫とは——



会期 平成27年
7月11日(土)~9月23日(水・祝)

静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
☎054-285-0476
バスで:JR静岡駅南口から「登呂遺跡」行き終点下車(約12分)
お車で:静岡ICから約10分登呂遺跡南側に有料駐車場有

開館時間 9:00~16:30
休館日 月曜日、祝日の翌日(8/10月は開館)
観覧料 大人 200円(団体150円)
小中学生 50円(団体40円)

豊かな水源に生きる

富士市と沼津市にかかる浮島沼・浮島ヶ原周辺と、静岡市南部の安倍川扇状地に広がる湿地周辺には、弥生時代からの農耕集落が点在し、水田を開拓してきたという共通点があります。弥生時代から近代まで、田下駄や大足など農具の工夫もみられます。時には洪水の被害もありましたが、苦難を乗り越えて水田農耕のために低地に進出していった様子を比較して示します。そこには豊かな水源を生き抜いた人々の誇りが感じられます。



①富士市沖田遺跡竪柱（富士市立博物館）



②富士市昭和はじめの浮島沼の田植えの様子（富士市立博物館）



③沼津市昭和に浮島沼で使われたオオアシ（沼津市歴史民俗資料館）



④沼津の内水面の漁撈用具 ウナギバサミ（沼津市歴史民俗資料館）

関連講座

「湿原に生きる豊かな知恵」

内容：時代と地域を超えた知恵と工夫について、遺跡や考古遺物だけでなく民俗資料も用いて解説します。

日時：9月5日（土）13：30～16：15

場所：静岡市立登呂博物館1階ホール

講師：富士市立博物館職員
沼津市歴史民俗資料館職員

定員：どなたでも60名

参加費：100円（企画展は別途観覧料が必要）

申込：電話で市コールセンター ☎200-4894へ（8/6（木）～申込順）

展示解説

日時：7月19日（日）、8月9日（日）、9月20日（日）

各日11時30分～、14時30分～（30分程度）

参加方法：登呂博物館2階特別・企画展示室へ（要観覧料）



登呂博物館 夏のイベント

弥生人体験教室 土笛づくり

弥生時代の楽器「土笛」を粘土で作ります。

7月11日①・7月25日②

時間 10時～12時 参加費 1人 200円

対象 どなたでも20名



登呂遺跡の田んぼで生物観察

登呂遺跡に住む生き物を探検しながら発見・観察します。

7月25日②

時間 10時～12時30分 参加費 1人 100円

対象 小学生20名



子ども学芸員養成講座

発掘、測量、展示など考古学や博物館の仕事体験します。

7月30日①・8月6日②・8月20日③

時間 13時～16時など 参加費 1人 200円

対象 小学5年生～中学3年生10名



自由研究お助け隊!

夏の自由研究に役立つ体験を実施します。

8月12日①～8月14日③

時間 各日10時30分～11時30分 参加費 無料

対象 小中学生



とろムラ体験フェスティバル

火おこし、石器づくり、丸木舟などいろいろな体験ができます。

8月23日⑤

時間 10時～15時30分 参加費 一部の体験は有料

対象 体験により条件あり



注意事項

①、②、③のイベントは事前申込みが必要です。

イベントの内容に変更が生じる場合があります。

詳細は、HPをご確認いただくか、お問い合わせください。



問い合わせ先 登呂博物館

TEL:054-285-0476

次回展示特別展「登呂のいす展」 10/10(土)～12/6(日) 開催

静岡市立登呂博物館

TEL:054-285-0476

HP: <http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>

